

コスタリカってどんな国？

熱気あふれる講演会でした



去る3月14日(土)、夜の集いにも拘らず55の方が聴きに来られ、会場は満席で一部は立見を余儀なくされるほどでした。

昨年の秋口から準備をはじめ、トークに映像を織り込み、写真を飾り、さらにお茶菓子付きのアットホームな雰囲気ですり合えるようにと進めてきました。内容も「軍隊のない国コスタリカ」の状況が具体的に話され、講演者の歯切れの良い語り口に引き込まれました。熱心にメモを取る人が多く、「レジュメが欲しかった」と残念がるなど熱気あふれる講演会となりました。

鈴木真理子さんの開会挨拶に続いて、講演者の二階堂まりさんから非戦ユニット・ピーストレインのメンバーが紹介され、訪問した二階堂さんと川本かずさんのトークと、新倉恒章さんのDVD映像で始まりました。

[何でコスタリカに行ったの？]

軍隊を持たないコスタリカが9.11事件後にアメリカの反テロ有志連合に名を連ねましたが、一大学生が憲法違反として最高裁判所憲法法廷に直訴し、裁判所で違憲判決、政府が有志連合のリストから外す事をアメリカに要求したとの記事を読んで大変に驚き、こうした事の出来る国を自分の目で確かめたいと、昨年の08年8月末から9月にかけて二人で行く事にしました。

[コスタリカいろいろ]

面積は九州と四国をあわせた程度で、人口440万人。内、難民が約100万人で、多くは隣国ニカラグアから。難民との間にトラブルは無くはないが、先生・学生・市民に聞いて

も困っているなら当然でありコスタリカ人と同じ考えの人が増えれば嬉しい、とのことでした。(ちなみに日本の受入れ難民は1億2千万人の人口で、2007年末現在451人、内130人はアメリカから要請された1975年のインドシナ難民)。経済はコーヒー・バナナなどの農業と、工業は集積回路と医療機器など。また、豊かな自然を利用したエコツアー発祥の地で、プロガイドの養成をしており、観光が盛んです。環境保護にも力を入れており、国土の約25%が自然保護区になっています。1940年～50年頃、アメリカ資本がコーヒーやバナナのために乱開発、大量の農薬を使用したため害が出ました。そこで、生物多様性法を成立させて生物や自然はみんなの物であると宣言したそうです。電力は8割が水力、後は地熱と風力で、CO2を発生させる事はありません。大統領は直接選挙で、国会議員もども任期4年で連続再選は禁止。議会は一院制、比例代表制選挙で女性を4割以上名簿登載しなければなりません。



[軍隊を放棄した訳は？]

1502年にコロンブスが足を踏み入れて以

来、スペインの植民地でしたが、1821年に独立して中米連邦の一員に。1829年教育者であったフェルナンデスが直接選挙で総裁(大統領)となり、中立を表明。1848年に独立、1869年には早くも国費による普通教育が実施されています。その後、不正選挙で内戦に発展し一ヶ月半に2000人が死亡したことを受けて、“軍隊があると不幸を引き起こす”と常備軍の廃止を決め、1949年に憲法に定めたそうです。

[それで、どんな国になったの?]

軍事費は国家予算の3割を占めていましたが、それを教育と福祉に回しています。医療費は無料です。日本の防衛費は5兆円。F-15戦闘機一機で100億円(203機保有)。イージス艦は1400億円(6隻保有)。それを教育や福祉に回せば…とぼやきも出ました。

就学1年前の幼児教育から中学までが義務教育です。私立もあります。幼稚園では内戦時代の戦闘機をきれいに塗って滑り台にしていました。歴史を忘れないためです。授業参観では小学1年生が絶滅危惧種の勉強をしたり、自分の調べたいものを自由に選んでいました。また、絵を描くことが好きな国民のようで壁画があちこちで描かれていました。高校生、大学生、先生方や一般家庭訪問などでインタビューしましたが、平和や人権について家族や友人と話すのは日常的だとのこと。家でのけんかの解決法も学校でみんなで話し合うそうです。国際法は小学生から教えます。

選挙は一種お祭りのようで、政治意識は非常に高く、不正があつて投票率が下がったと

嘆いていたが、それでも70%台です。学校でも模擬選挙が行われ、盛り上がるそうです。

最高裁判所憲法法廷には、名前・連絡先・困っている事さえ書ければ誰



でも直訴する事が出来ます。訪問する動機になった大統領を訴えた大学生の例など、日本では想像も出来ない制度ですね。

[平和・人権・環境保護の発信国]

国連平和大学もコスタリカにあります。大学院大学で、短期コースもあります。

パナマに、軍隊を持たない憲法を勧めました(1994年成立。日本を含めて世界で3ヶ国目)。

核不拡散条約の見直しに関しても、コスタリカは「モデル核兵器廃絶条約」を国連に提出しています。国際反核法律家協会(後述するバルガス氏が副会長)は「新原爆訴訟というものを起こして『原爆投下は国際法違反』であると訴えよう」と計画しています。

米州機構に属する国を被告とする、人権侵害訴訟を審理する人権裁判所が置かれています。

自然保護活動では、リオでの「第1回地球サミット」の後にできた環境保護のための「地球評議会」も事務局はコスタリカにあります。また京都議定書の原案も作成しました。

[モンヘ元大統領に会いました]

1982~86年の大統領。労働組合出身者。1948年の平和憲法草案作成委員会のメンバーです。「ニカラグアに左翼政権が成立した時、アメリカが反政府ゲリラ・コントラ支援のためにコスタリカに米軍基地を置こうとした。そこで積極的永世非武装中立宣言をして、基地を置かせなかった。反テロ有志連合に名を連ねたロドリゲス大統領は気の弱い人だった。最高裁判決が出て、脱退の理由が出来たのでほっとしただろう。日本がなすべき事は平和憲法と広島・長崎の原爆被害の経験を大いに生かすことだ。軍隊は紛争を解決できない。その金は教育や国民が元気に暮らせることに使うべきだ。」

[コスタリカ大学国際法教授バルガスさんに会いました]

元国際司法裁判所・米州司法裁判所の弁護士、国際反核法律家協会副会長。昨年の幕張メッセ9条世界大会に参加。核廃絶運動のリーダーです。「武力よりも国際法は強い。米国はコスタリカを“平和を実践し人権を大切にす国”として尊敬しており、対等に接している。軍隊が無ければ、外交・国際法で解決する事が出来る。日本はコスタリカのように歴史をしっかりと教える事が大事だ。歴史から未来を考える事が出来る。平和や民主主義が生かされているのか否かは、その国民の意識・認識による。」

[お二人のコスタリカの印象]

軍隊放棄を提案したフィゲレス大統領の夫人カレンさんは「平和は努力と行動だ。まず、夢を見なくては」と語っています。素晴らしい言葉だと思います。

コスタリカの人々はさらっとした性格で、政治が日常生活に深く関わっている、と肌で感じました。何よりも人権を、他国民の人権も同様に、大切にしている。法律や教育を含

めた制度が、国のためではなくそこに住む人たちのためにあると実感しました。そう力強く語ってトークを終えました。

15分の休憩後、質疑応答・意見交換では次々と手が挙がり、自由で民主的な国がどうして生まれたのか？選挙に対する日本との比較や、「モデル核兵器廃絶条約」の運動をされている方の発言など様々な意見が交換されました。もっと時間が欲しいとのご意見もありました。

あっという間の2時間でした。

同じような平和憲法を持っていても、片や世界に平和を発信し、片や海賊を口実に1万キロも離れたアデン湾に護衛艦を派遣する。この違いの重さを感じています。

二階堂さん、川本さん、そして非戦ユニット・ピーストレインの皆さん、ボランティアでのお願いを快く受けて下さり、また熱のこもった講演を有難うございました。お礼申し上げます。

(西尾 真人記)

参加者アンケートより

回答数29人。ご意見・ご感想を紹介します。紙面の都合で一部しか載せられませんことをお詫びします。

- ピーストレインのお二人の報告とてもよかったです。“軍隊を持たない”ということがこれほど素晴らしいこととは思えませんでした。コスタリカの国民に教えられること大。メールを送りたいです。
- 話は大変よかった。しかしレジュメがなかったのはまずかった。軍隊を持たなくなった理由がよくわかった。特に有志連合に入ったのを訴えそれをやめさせたいきさつを知って、たのもしく思った。
- コスタリカに行きたくなりました。ビデオがあつてよかった。私にとって久々にいい話(関心深い)をきくことができました。もっと聞いたり話しあったりしたいと思いました。
- 思っていた以上の素晴らしい国でした。政治

が日常化しているのを日本でも実践したい。支持政党なしが一番多い国はおかしいと思う。

- 日本も多くの国民がもっと政治や選挙そのものに関心が深まるためには、コスタリカのように少年少女の時から日常のなかでどんどん話題に親しんで希望を持って語り合えるようになりたいものです。
- 日本と同じ平和憲法があるのに、なぜ日本はこうなったのか、コスタリカを手がかりにして各自が考え話し合う会にすればよかったのではないかと思います。
- コスタリカと日本の違いが似たようできていて、それぞれの歩み方でこんなにも違いがあるものかと思いました。私たちもコスタリカのように自国に誇りが持てるような日本をつくっていければいいと思いました。

「生かそう憲法、輝け9条—5.3憲法集会」に参加しませんか！

今年も超党派の憲法集会が、下記のように開催されます。狛江からも例年、多くの方が参加されています。今年も一緒に参加しませんか！

日時：5月3日（日、憲法記念日）

12：30開場 13：30開会

場所：日比谷公会堂 参加無料

（手話通訳有り）

銀座パレード：15：30出発

スピーチ：落合恵子（作家）

益川敏英（京都産業大学教授・

ノーベル物理学賞受賞）

志井和夫（日本共産党委員長）

福島みずほ（社会民主党委員長）

主催：5.3憲法集会実行委員会

参加される方は

狛江駅改札口集合10時

代々木上原駅ホーム前方10時半

（今年は11時に整理券が発行されますので、整理券をもらった後、公園の外で皆さんで昼食をとり、交流が深められたらと思います。）

*銀座パレードがありますので、自分の思いを書いたプラカードなどを用意されると良いと思います。各自昼食などご用意ください。



「九条の会」講演会——加藤周一さんの志を受けついで

日時：2009年6月2日（火）

開会：午後6時30分

（開場：午後5時30分）

会場：日比谷公会堂

講演：井上ひさし 大江健三郎

奥平康弘 澤地久枝

加藤さんのパートナーの矢島翠さんも出席

歌：「さくら横町」（詩・加藤周一）

全席自由席 前売り券1000円

郵便振替で代金を送金すると折り返し入場券が送られてきます。

（受付開始 4月1日、参加券の発送は4月中旬からの予定）各自でお申し込み下さい

口座名・九条の会

口座番号 00180-9-611526

主催：九条の会 <http://www.9-j.o.jp/>

問い合わせ：九条の会事務局

TEL03-3221-5075

会費、カンパへの御礼

前号のお知らせの後、皆様から会費やカンパを多数お寄せ頂きまして、大切に役立てて生きたいと思っております。有難うございました。